

たかさき

Takasaki City Assembly News

市議会だより

高崎市議会ホームページ

高崎市議会

検索



NO. **271**

2019.10.31

発行 高崎市議会

編集 広報委員会

高崎市高松町35番地1

TEL 027(321)1281

主な掲載内容

- 第4回定例会の概要……………2～3
- 一般質問……………4～9
- 委員会審査……………10
- 行政視察報告……………11
- 議案等審議結果……………12

鼻高展望花の丘のコスモ畑

平成30年度決算を認定

令和元年第4回定例会は、下記の日程により23日間の会期で開かれました。本定例会では、平成30年度の一般会計・特別会計の決算認定などの議案20件と議員派遣の議員提出議案1件を原案のとおり可決・認定し、教育委員会教育長及び委員、公平委員会委員、固定資産評価審査委員会委員、人権擁護委員候補者を同意しました。

なお、提出された請願1件は不採択となりました。

また、21人の議員が市政に対し一般質問を行いました。



箕輪小学校完成イメージ図

9月	5日(木)	議案上程、提案理由の説明、監査報告ほか
	6日(金)、9日(月)、10日(火)、11日(水)	一般質問 (*詳しい内容はP4~9)
	17日(火)、18日(水)、19日(木)、24日(火)	委員会審査 (*詳しい内容はP10)
	27日(金)	付託された議案等の委員長報告～討論～議決 ほか(*審議結果はP12)

本定例会で可決した主な議案

箕輪小学校の校舎を建て替え

○老朽化した箕輪小学校の校舎を改築するため、第2期工事の請負契約を締結する。

■契約金額 8億1620万円

■契約相手方 信澤・高橋・神宮高崎市立箕輪小学校校舎

改築第2期工事特定建設工事共同企業体

■竣工日 令和3年3月5日

■建物概要 木造 地上2階建

延床面積 2801.43㎡

消防ポンプ自動車を購入

○消防ポンプ自動車(CD-I型)を2台購入する。

●ホースカー仕様 1台

●背負い器仕様 1台

■契約金額 3687万円

■契約相手方 群馬トヨタ自動車株式会社特販部

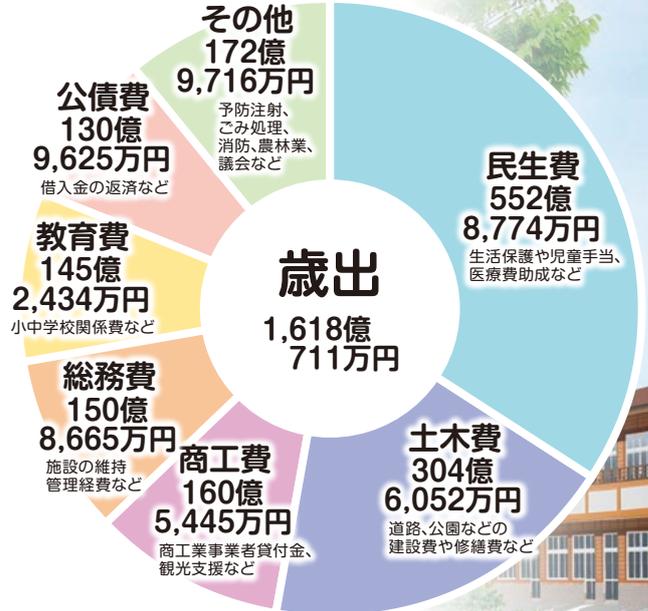
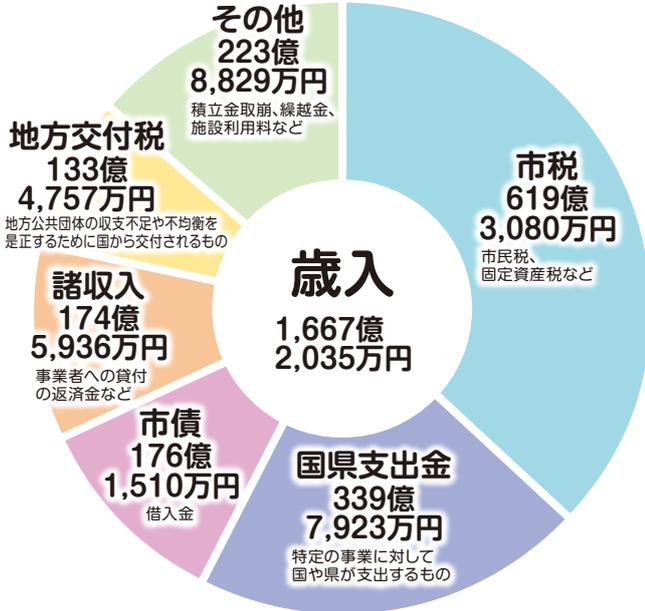
決算の概要

歳入 1,667億2,035万円 ・ 歳出 1,618億711万円

歳入歳出の差引額は49億1,324万円。

繰越財源を控除した実質収支額のうち、33億円を財政調整基金に積み立て、残りは翌年度に繰り越しました。

一般会計



特別会計

歳入	歳出
763億2,077万円	750億3,278万円

企業会計

	収益的収入(歳入)	収益的支出(歳出)
水道事業	74億3,253万円	64億8,754万円
公共下水道事業	90億6,772万円	70億4,076万円

※千円以下を四捨五入しています。

令和元年度 一般会計補正予算

歳入歳出 28億666万円の増額

○一般会計の総額に歳入歳出それぞれ28億666万円を増額し、予算の総額を1744億3268万円とする。

主な内容

■ 榛名湖アーティスト・レジデンス(仮称)改修工事

9500万円

榛名湖畔の湖畔亭を改修し、アーティストの創作の場として芸術活動を支援する。



改修が予定されている湖畔亭

■ 用排水路整備事業

1億500万円

本年7月の豪雨により浸水被害を受けた井野川沿いの元島名町前久保地区と宿大類工業団地内の雨水排水対策に係る改修経費。

■ 軽減税率対応レジ導入補助金

750万円

消費税の軽減税率制度に対応したレジ等を導入する市内商業者を支援する。

■ 浜川運動公園拡張地整地工事

3億4000万円

テニスコートやクラブハウス周辺の舗装工事を行う。

■ 城南野球場各所改修工事

1億2000万円

寄付を活用し、城南野球場の照明設備等を改修する。

市政を問う

一般質問

議員が市政全般について、その事務の執行状況や将来の方針等の報告・説明を求めたり質問したりすることをいい、毎定例会で行われます。質問者順で掲載しています。

一般質問のあらましを質問者順に掲載しています。 ※会派は、令和元年9月現在で掲載しています。



中小企業の支援
後藤 彰
(新風会)

質問 製造業を中心とする中小企業の人材不足に対する支援は。

回答 6月の運行開始から徐々に利用者が増加している。高崎地区タクシ

回答 中小企業では、非正規労働者や外国人技能実習生で対応しているが、労働力は十分でない認識している。市は、市内の高校や大学の新卒者をはじめ、子育てなどで一時的に離職した人を対象に、市内企業への就職につながる事業を実施している。従業員が快適に働き続けられる環境整備も重要であるため、今後の支援をさらに研究していく。

回答 6月の運行開始から徐々に利用者が増加している。高崎地区タクシ協会に業務を委託し、第2種運転免許保有者が運転を担っており、歩行者や自転車利用者の安全を最優先に運行している。また、許可車以外進入禁止の一部ルートでは警察と関係商店街と連携を図り、交差点では車両の通行スペースを確保する路面標示を施すなど、円滑な運行対策も実施している。



生活困窮者支援
依田 好明
(日本共産党)

質問 生活が厳しく税の滞納に苦しむ市民にとって、国民健康保険税の均等割は大きな負担となっている。子どもに係る均等割の減免が全国の自治体に広がっているが、本市の考えは。

を図るためには有益であるが、国が制度として確立するべきものと考えている。全国市長会などを通じ、支援制度の創設を要請しているため、今後の動向を見守っていききたい。

回答 子どもに係る均等割を免除または軽減することは、子育て世代の負担軽減

質問 若者の投票率向上のため、大学のキャンパス内に期日前投票所を設置でき



井野川の浸水防止対策



本市の井野川流域の雨水対策
大河原 吉明
(新風会)

質問 ゲリラ豪雨が頻発する昨今、井野川沿いの低地部分の浸水防止対策が急務であるが本市の考えは。

また、水位上昇時に浸水の危険性が高い地域では、随時水位を観測し、早めの避難勧告を発令するなど、人的被害の防止に努めたい。

回答 低地部分の雨水の範囲や井野川へ流れ込む水路の調査測量を行い、雨水を上流で止めるための水路の付け替えを検討し、河川管理者と協議の上、迅速かつ適切な対策を考えている。

質問 本市で構築を進めている地域包括ケアシステムの進捗状況は。

回答 市内29カ所に高齢者あんしんセンターを設置し、高齢者の総合相談、権利擁護、介護予防ケアマネジメント業務に加え、在宅医療、介護連携、認知症施策、生活支援サービスを実施するなど、地域包括ケアシステムの構築を推進している。また、医療と介護サービスが途切れないよう、関係機関、区長、民生委員やボランティアなどと協働し高齢者を支援していく。



ないか。また投票を促すキャンペーンを行う考えは。

では、サービスセンターなどで実施し、投票機会の確保に努めている。またキャンペーンについては、方法や手段など先進地の情報を収集し研究していきたい。





がん 対 策
放課後の子どもの居場所
小野 聡子
(公明党)

質問 AYA世代のがん患者に対する支援は。また治療と仕事の両立のための環境整備は。

答弁 市は、将来子どもを望む患者が、希望を持って治療に取り組めるよう、**妊** **孕性温存治療**と、その後

精子や卵子などを凍結保存するための費用の助成について、来年度から開始する方向で検討している。

また、治療と職場生活の両立支援のためにどのような取り組みが最適か情報収集を十分に行い、就労支援

の在り方を研究していく。

質問 放課後児童クラブの利用状況と整備状況は。

答弁 小学校の児童数が減少傾向にある中、保護者の就労形態の多様化や共働き世帯の増加、核家族化などに伴い利用児童が増加しており、施設の新設、空き家の賃借、余裕教室の活用などで対応している。

本年度も地域からの要望を踏まえ、3つの小学校区で学校敷地内への施設の建設を予定している。



個人所有(共有)の私道の整備・補修
行政嘱託員に対する交通安全対策
丸山 覚
(公明党)

質問 個人所有の私道整備には多額の費用がかかるため、土地所有者、利用者への整備補修費に対する支援の考えは。

答弁 利用者が限られているため、私道の整備を公共事業として行うことは難しいが、利用状況や地域の実情を調査し、公共性のある私道については土地の寄付

を受け、補修を行っている。整備補修費への支援は現在ないが、今後も生活環境の向上に努めたい。

質問 市が委嘱している区長や各委員は高齢化が進んでいるため、市として交通安全対策が必要と考えるが、これまでの対応は。

答弁 委嘱により、業務で自動車を運転する機会が増

えることから、新任者への事務説明の際に、業務中の事故等への保険対応の説明と合わせ、事故に対する注意喚起をしている。また、



上野三碑の今後の普及促進
東京五輪に向けた取り組み
樋口 哲郎
(新風会)

質問 上野三碑のイベントと多胡碑記念館の改修は。

答弁 上野三碑かるたの読み札の応募は2000作品を超え、読み札の清書は高校の書道部の生徒に、絵札の作成は専門家に依頼する。また、11月には講演会や子ども向けイベント、上野三碑覆屋の扉を開く特別公開を実施する予定である。

多胡碑記念館の外壁改修工事は、経年劣化した壁面

各会議や研修の機会に交通安全に関する講習会等の開催を検討し、交通安全の徹底に努めていきたい。



の塗装などを行い、10月末の完成を予定している。

質問 事前合宿地として有力視する国への誘致に向けた取り組みは。

答弁 本市は、ポーランド共和国とウズベキスタン共和国のホストタウンである。世界トップアスリートを迎えるため、武道館の畳の入れ替えやトイレの洋式化、浜川競技場のハンマーサークルの整備を行った。また、室内競技合宿に向け、浜川体育館の空調設備工事を予定している。事前合宿地としての潜在能力は高く、さらなる依頼が考えられる。



有害スラグ撤去
保育無償化に伴う諸課題
伊藤 敦博
(日本共産党)

質問 有害スラグの危険性について、広く市民に周知する必要があると思うが、市の考えは。

答弁 非鉄スラグを出荷した会社は、回収や撤去の実施と地域住民向けの問い合わせ窓口の設置などを公表した。市では、公表された内容を市のホームページで閲覧できるようにしている。

また、本市に対する問い合わせも随時受け付け、市民が安心・安全に生活できるよう、出荷元および施工業者等を指導していく。

質問 保育所での副食費の実費徴収に係る問題点と本市における支援策は。

答弁 副食費は、月額4500円を目安に保護者が直接施設に支払うものとされ、低所得者や第3子には負担軽減の措置が設けられた。また、滞納が発生した場合には、各施設からの相談に応じ助言を行う。

国では制度を再検討する動きもあるため、今後も国の動向を注視しつつ、機会を捉え働きかけをしたい。



多くの応募があった上野三碑かるた

Adolescent and Young Adult (思春期と若年成人) の略で、15歳から40歳未満の人。

●AYA世代

●妊孕性温存治療

放射線などががん治療により、将来妊娠の可能性が消失しないように生殖能力を温存するため、子宮や卵巣の温存手術や精子、卵子、受精卵の凍結保存などを行う。



コンパクトシティ政策の現状と今後
 中心市街地の小売商業の活性化と今後
 片貝 喜一郎 (新風会)

質問 国が示すコンパクトシティ政策の考え方は。また、それに基づき高崎駅周辺の町づくりと取り組みは。

答弁 医療、商業施設、住居等を集中して立地させ、公共交通と連携させていくコンパクトシティ・プラス・ネットワークの考え方で、本市もこれに基づき、高崎駅周辺にアーリーナや商業施設を集積している。また、中心市街地の人口増加を図るため、従来の建築規制を緩和する市独自の居住誘導策を実施している。



質問 小売業者に対する支援や今後の方針は。

答弁 市内での新規創業や店舗の取得に必要な設備資金などに対する各種融資制度のほか、個店を支援するまちなか商店リニューアル助成により空き店舗への新規出店が増加し、市内商業の活性化につながっている。また中心市街地の空き店舗情報を定期的に把握し、その情報をホームページで発信している。今後さらなる市街地活性化を図りたい。



新規就農促進対策
 若い物弱者支援策
 清水 明夫 (新風会)

質問 本市の新規就農を促進するための施策は。

答弁 県、農業委員会、農協と連携して農業経営意向確認のための新規就農相談カードを作成し、情報共有している。また、50歳未満に対して、年間150万円を最長5年間支給する農業次世代人材投資事業や、大規模商業店舗への販売活動

に対する出荷支援をしている。さらに、新規創造活動補助金を活用して商品パッケージを開発し、首都圏などで積極的な販売活動に取り組んでいる例もある。

質問 近年の免許返納者数の推移と返納者への本市の取り組みは。

答弁 平成28年が853人、29年が968人、30年が



倉賀野おもてなし館



学童保育の現状と諸課題
 倉賀野古商家おもてなし館
 渡邊 幹治 (新風会)

質問 支援員確保の方法と放課後児童クラブへの支援策は。

答弁 各クラブでは支援員の確保に苦慮していると認識しており、各クラブからの要請に応じ、広報高崎に募集記事を掲載している。今後は、ハローワークなどへの協力依頼や退職予定の保育士や教員が再度活躍できる仕組み作りなど、支援員の確保に向けて必要な対

1198人と、3年間で約1.4倍に増加した。返納者への支援は、バスカードやタクシー券の配付、また、運転経歴証明書の提示によ

る協力店舗でのサービスと市内循環バスが半額となる制度がある。今後新たな支援策を研究したい。



子育て支援
 堀口 順 (市民クラブ)

質問 産後うつへの本市の支援は。また、今春より発売開始となった液体ミルクは、災害時のみならず母親の育児軽減に有効で、働き方にも好影響を与えるものと考えますが、本市の活用は。

答弁 来年度から、産後2週間健診や1カ月健診の2回分の費用を助成し、産後ケア事業と合わせ、産後うつへの予防に努めたいと考えている。また、液体ミルクは粉ミルクに比べ簡単に授乳ができるため、母親以外の家族が育児に参加するきつ

から本年7月末までの来館者数は10847人で、街道沿いに休憩所があることで安心してまち歩きができると評価を得ている。地域との交流イベントにも大勢の人が参加し、観光客の利便性の向上や地域の憩いの場としての役割を果たしている。また、宿場町として栄えていた市町村と情報交換を行い、今後も認知度や利便性の向上に努めていく。



かくなる。今後は、育児負担の軽減につながる有効な商品の一つとして、情報提供に努めていきたい。

質問 来月からの幼児教育費、保育費の無償化に伴う本市の負担額は。

答弁 当初予算と9月補正予算を合わせ、約6億4千万円を計上しており、本年度の市負担分は国から補填される予定である。次年度以降は、無償化前の負担分と無償化分を含めた一定の負担が市に求められている。





本市の防災

荒木 征二
(市民クラブ)

質問 本市の救援物資や人的支援の受け入れ、集積拠点の対応方針は。

答弁 ライフラインの機能停止により備蓄品で充足できない場合は、協定した自治体や事業者に要請し物資を確保する。また、総合卸売市場を第一集積拠点とし、協定している運送事業者やトラック協会高崎支部と支援物資の荷捌きや配送などを実施する計画である。人的支援については、適時適切に受け入れ、市民生活の早期復旧に努めたい。

質問 自家用車で避難して他の市の被災者を受け入れる考えは。

答弁 広域的な避難には、行政のバスによる移動が想定されるため、避難施設の選定は避難者の収容スペースだけでなく、駐車スペースも考慮することが重要である。一方で、自家用車での避難も想定されることから、駐車スペースの指定を含めた事前の確保対策について、他の事例等を参考に研究したい。



榛名湖周辺の諸施策

長壁 真樹
(新風会)

質問 榛名湖アーティスト・レジデンス(仮称)事業の概要は。

答弁 湖畔亭を改修し、文化芸術の振興や榛名湖周辺の活性化を目的に、アーティストの作品制作などの場として提供する。表現ジャンルは問わず受け入れ、詳細が固まり次第、利用者の募集をインターネットやS



NSで周知していく。部屋数は9部屋、料金は1カ月2万円、1泊2日で2千円程度と考えている。本年度中に改修し、来年度のオープンを予定している。

質問 レークサイドゆうすげ跡地のグラウンドゴルフ場の整備内容と今後の予定は。

答弁 天然芝のグラウンド



避難所開設運営訓練

ゴルフコースを8コース整備する予定であり、ゆうすげ元湯の宿泊とグラウンドゴルフの利用をパッケージ化し、利用者数の拡大を図る。今後、令和2年度に解体工事、3年度にコース整備を開始し、4年度の完成を予定している。



本市における防災・減災対策

中村 さと美
(公明党)

質問 被災者が安心して生活できる避難所が必要であるが、本市の避難所運営マニュアルの作成状況や避難所の環境改善対策は。

答弁 平成29年に避難所運営マニュアルを全町内会に配付し、自主防災組織を中心に地域の実情に合ったマニュアルに修正して活用するように周知している。また、本市は災害時の資機材の供給に関し、さまざまな団体



と災害時応援協定を締結しており、段ボール製の簡易ベッドや間仕切り、ミスト付き扇風機など、避難所における生活環境の向上に努めている。



高齢者のお出かけ支援

丸山 芳典
(新風会)

質問 本市の高齢者買い物支援にはどのような施策があるのか。

答弁 高齢者の見守りを兼ねた移動販売事業、ボランティアが店舗への送迎を行う倉渚地域高齢者買い物支援事業、高齢者等買物代行事業、町内会が実施主体となり運営する高齢者向け買い物支援タクシーチケット交付事業の4事業がある。

質問 高齢化率の高い倉渚地域における高齢者買い物支援事業の概要は。

答弁 公共交通空白地有償

めている。
質問 昨年改定されたハザードマップの工夫点は。
答弁 市内を5つの地域に分け、それぞれ1枚の地図形式とすることで、地域全体の洪水浸水想定区域や避難すべき方向の把握を容易にした。また、家屋倒壊等氾濫想定区域を新たに地図上に表示する上で、斜線やドットを使用し、分かりやすさを重視した構成とした。



運送制度を活用し、ボランティアが利用者宅と地域内の商店または最寄りのバス停間の送迎を行っている。また、医療機関や公共施設などへの送迎も可能にしたことで利用者数も増加した。事業主体は社会福祉協議会倉渚支所で、65歳以上の高齢者が対象である。運行区域は倉渚地域限定で、月曜日から金曜日の事前予約制となっている。現在、本市では運営費や車両維持費などを補助している。



●アーティスト・レジデンス

アーティストに対し、滞在のための宿泊施設を提供したり、アトリエや工房など作品制作の場を提供したりするなど、その活動を支援すること。

●公共交通空白地有償運送制度

交通が不便な地域において、地域住民の日常生活に必要な用務の送迎をNPO法人などが行う。



治水 公共交通の役割 策 三井 暢秀 (市民クラブ)

質問 河川の水位上昇によって発生する逆流現象（バックウォーター）の対策は。

答弁 河川からの逆流現象を防ぐため、樋管に水門を設置しているが、水門を閉じたために雨水が河川へ流れ込むことができず、低い土地や道路が冠水すること



も起こり得る。今後、樋管に流れ込む排水路の状況を調査した上で、当該地域へ集中する雨水を分散する方法を検討し、適切な対策を講じていきたい。

質問 鉄道交通の充実に向

けた県との連携や今後の取り組みは。

答弁 県は、平成30年度からの3年間で、県内の鉄道路線の利用促進に取り組みこととしており、県と沿線市町村、鉄道事業者が連携して各路線の課題点を明確化し、必要な利用促進策を研究していく。本年度は、JR上越線、JR信越本線、上信線について進められている。本市も積極的に参画し、鉄道の利便性向上と利用促進に取り組んでいく。



東京オリンピック前後の本市のイベント日程 白石 隆夫 (新風会)

質問 東京オリンピックの影響で高崎まつり・高崎山車まつりの日程を変更した理由は。また、来年は市制120周年で全38台の山車が参加予定となるが、集結場所などの計画内容は。

答弁 従来どおりの警備体制が確保できない懸念が高まったため、各実行委員会、警察などの関係機関と協議

し、日程変更を決定した。来年は全38台の山車の出場を計画しているが現時点で詳細は決定していない。集結場所や交通規制の検討が必要となるため早い段階で関係機関と協議を進めたい。

質問 本市の全国学力・学習状況調査の結果は。

答弁 全ての教科で県、国の平均を上回った。好成績

の要因として、学力アップ大作戦におけるボランティアの献身的な取り組みや、ALTの全校配置による効果が極めて大きい。意識調



立地適正化計画 林 恒徳 (市民クラブ)

質問 国が創設した立地適正化計画とは。

答弁 住みやすい生活環境や持続可能な都市経営を確保するため、平成26年に都市再生特別措置法の改正により創設した制度である。具体的には、都市計画区域内の一定のエリアに、居住誘導区域と都市機能誘導区域を設定、住居や医療、福祉、商業などの生活利便施設を誘導し、高齢者が公共

査でも、よく読書をするという回答した割合が高く、司書教諭や指導員の貢献もあると考える。



質問 消防団各方面隊による散水隊の結成に向けた経

緯とその効果は。

答弁 昨年の消防局職員散水隊による効果の検証結果に基づき、本年は消防団・各方面隊と連携し、2日間で総勢130人の消防団員が18カ所の消火栓に配置され、道路や歩道などに継続的な散水活動を実施した。これにより参加者や来場者から感謝の言葉を頂いている。今後も市民が安全に楽しめる高崎まつりにしたい。



不登校対策 三島 久美子 (無所属)

質問 不登校児童・生徒の選択肢としてフリースクールがあるが本市との連携は。

答弁 不登校児童・生徒の支援では、教育委員会、学校、民間団体などとの連携が重要と考えており、フリースクールへの通所状況や支援内容の情報交換を行っている。適応指導教室の充実を図るとともに、不登校児童・生徒数の推移やフリースクールの実情を見ながら、フリースクールとの連携を研究していく。

質問 旧オリオン座を含む

答弁 中央銀座通りの活性化策は、平成29年に再建した高崎レトロアベニューを中心に、市内の若手経営者に飲食店の出店を促すとともに、ぐるりんタクシーを運行させ、にぎわいを波及させている。また、まちづくり協議会を組織し、さまざまなイベントを行っている。イベントが一過性にならず定着できるよう支援するとともに、旧オリオン座の動向を注視しながら、さらなる活性化策を検討していく。



消防団員による散水

決算議案への討論

賛成

● 第6次総合計画策定による施策を実施 (新風会)

本市の経済は、さまざまなビジネス活性化施策の効果により、緩やかな回復基調が続き、市税収入においては、前年度を上回る税収を確保している。

今後も第6次総合計画に基づき、限られた財源を有効かつ効率的に執行することを期待する。

● 新しい高崎に向けた各種施策の実現 (市民クラブ)

商業・工業・農業などの施策に対し積極的かつ意欲的に取り組み、多方面にわたる各種施策が功を奏し、市税収入の増加につながった。また、市有施設の長寿命化への方針も評価でき、今後も計画的な取り組みを要望する。

反対

● 生活困窮者への支援の強化 (日本共産党)

国保加入者は、非正規労働者や年金者、無職者などが多く、保険証の返還により最低限の医療も受けられない苛酷な状況である。基金が基準以上であれば、国保税の引き下げを決断するよう強く要望する。

同意した人事案件

- 教育委員会教育長 飯野眞幸氏
- 教育委員会委員 重田誠氏
- 高崎市等公平委員会委員 長井友之氏
- 固定資産評価審査委員会委員 坂本正樹氏
- 人権擁護委員候補者 山口美千世氏
- 人権擁護委員候補者 藤澤秋子氏
- 人権擁護委員候補者 上和田照吾氏

質問 持続可能な開発目標として誰もが取り組む事ができるSDGsの認識は。

答弁 SDGsは17項目から成る国際目標で、国を挙げて取り組みを推進している。本市が実施している高齢者や障害者に対する支援、男女共同参画などあらゆる施策がSDGsの理念に合致すると認識している。

質問 SDGsの目標に該当する民生委員・児童委員に対し、若者の関心が高いため、学生民生委員を設置する考えは。



本市におけるSDGs
子どものインフルエンザ予防接種

新保克佳
(公明党)

答弁 広報で特集を組むことで、民生委員の活動への理解を広げ、活動しやすい環境を作っている。今後、若い世代に向けた取り組みも研究していきたい。

質問 高齢者と同様に子どものインフルエンザ予防接種への助成の考えは。

答弁 毎年多額の予算を伴うことになるため、費用対効果も含めて、必要性や緊急性なども慎重に検討する必要があるので、国や他自治体の動向を注視したい。



質問 農地の維持が困難な地域がある中、市としての農業振興の進め方は。

答弁 市は6次産業化の推進やブランド力向上を支援する農業者新規創造活動補助金を創設し、生産者の意欲向上を図る一方、販路拡大のためシンガポールに海外輸出の拠点となる現地法人を設立した。さらに、ユーチューブを活用した農チ



耕作放棄地
お店ぐるりんタクシー

中島輝男
(市民クラブ)

ューブ高崎を公開し農業をPRするなど、さまざまな施策を組み合わせて着実な取り組みを進めたい。

質問 農地の維持が困難な地域がある中、市としての農業振興の進め方は。

答弁 市は6次産業化の推進やブランド力向上を支援する農業者新規創造活動補助金を創設し、生産者の意欲向上を図る一方、販路拡大のためシンガポールに海外輸出の拠点となる現地法人を設立した。さらに、ユーチューブを活用した農チ

質問 お店ぐるりんタクシーの利用料を無料にした経緯は。また、民業を圧迫しないための配慮は。

答弁 運行開始から3カ月の利用者数は増加傾向であり大変好評である。車椅子でも乗降でき、利便性を最優先に無料運行している。また、警察署や運輸支局との協議により、運行ルート上の安全性を確認し、既存のバス路線に重複しないルートとするなど、バ



請願の審議結果

提出された下記の請願を審議した結果、賛成少数で不採択となりました。

- 日本政府に核兵器禁止条約への賛同と推進を求める意見書の採択について



●SDGs(エス・ディー・ジーズ)

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の略称で、2015年9月の国連サミットで採択された国際目標。

●農チューブ高崎

高崎の農業をテーマにしたYouTubeチャンネル。

委員会審査

各常任委員会、都市集客施設整備特別委員会において、付託された議案などを審査しました。質疑・答弁の一部を掲載します。

総務常任委員会

質疑 高崎アリーナの稼働率と利用状況は。

答弁 メインアリーナが80%、サブアリーナは95%である。利用者数は、競技者としてメインアリーナおよびサブアリーナを利用した人が約13万6千人で、ウエイトリフティング室とランニングコースの利用者を含めると、合計で約14万7千人である。

質疑 くらぶち英語村運営事業における参加者の実績や取り組みは。

答弁 広島県、愛媛県、大阪府など、全国各地から児童・生徒が集まり、通年コースは22人、短期コースは56人、週末コースは延べ262人が参加した。国際感覚なども養いながら英語の力を付け、地域のさまざまな体験や活動を通して成長している。

教育福祉常任委員会

質疑 地域人材活用等講師謝金の内容と実績は。

答弁 稲刈りなどの総合的な学習の時間や各教科の授業に、外部講師として地元の人に参加して頂き、協力者380人に謝礼をした。



地域人材を活用した授業

質疑 保育所入所待機解消支援事業補助金の実績は。

答弁 年度途中の入所児童に対応するために保育士などをあらかじめ雇用した58施設に対し、児童が増えるまでの間、1人当たり月額16万円を基準額として補助し、150人の児童が入所可能になった。

市民経済常任委員会

質疑 みさと芝桜公園使用料の減収の理由と今後の対策は。

答弁 前年度は花の開花が早まり、咲き終わった後は無料開放としたことで、入園料が減少したためである。現在は、より長くもつ種類への植え換えを行うなど、入園者が長く楽しめるように努力している。



色鮮やかなみさと芝桜公園

質疑 グリーンベルト整備事業の実績と今後の取り組みは。

答弁 塚沢小学校など9校で、1万5,382メートルの整備を行った。今後、薄くなっている場所の塗り直しや通学路の変更などによる新設の対応を考えている。

建設水道常任委員会

質疑 特定歴史的景観建造物等補助金を活用した建造物の場所と、修繕の内容は。

答弁 高崎地域が3件、倉渕地域が1件、箕郷地域が3件、新町地域が1件である。修繕の内容は、養蚕農家などの屋根の葺き替えや外壁の張り替えなどが4件、土蔵の屋根や外壁の改修などが4件あった。

質疑 水道事業会計における有収率が、前年度より悪化した要因は。

答弁 昨年の夏は猛暑が続いたことから、本管の水圧変動や水温変化などによって起こる、石綿管の膨脹による破損を抑制するために、一部の地域で水圧調整のための放水を行ったことが要因と考えている。

都市集客施設整備特別委員会

質疑 高崎芸術劇場の冷水機のバリアフリー化は。

答弁 3つのホールのホワイエにビルトインタイプの冷水機を備えている。この冷水機は、低い位置に設置されているなど、車いすの人が問題なく使用できるユニバーサルデザインに配慮した。



質疑 舞台大道具製作委託の内容と金額の内訳は。

答弁 能舞台や金屏風などの和物演出で使用するもの、大型サイズの映写用スクリーン、スチールデッキや舞台幕類などがある。3つの専門業者に分けて委託しており、2カ年契約の合計額は3億153万6千円で、うち平成30年度は前払い金として30%を支払っている。



●有収率

浄水場で浄水して水道管に送った水の量と家庭や事業所などで使われた水道料金が発生する水の量の比率。

●ホワイエ

劇場やホールなどの入口から観客席までの広い通路。

行政視察報告

所管する事務に関する調査のため、他の自治体等の先進的な取り組みについて行政視察を行いました。

総務常任委員会 10月1日～3日

熊本県菊池郡大津町

- 熊本地震における対応と復興状況

福岡県糸島市

- 移住・定住施策

山口県下関市

- 消防団の入団促進の取り組みと消防防災学習館

教育福祉常任委員会 10月1日～3日

石川県小松市

- 石の文化資源の保全と活用

福井県越前市

- 「いきいきふれあいのつどい」による介護認定率低下
- 健康21計画

奈良県奈良市

- 放課後児童健全育成事業施設昼食提供事業

市民経済常任委員会 10月7日～9日

東京都北区

- ごみ減量化、リサイクル率の向上の取り組み

香川県高松市

- 地域公共交通再編事業

徳島県徳島市

- 観光振興施策

建設水道常任委員会 10月7日～9日

東京都目黒区

- 目黒天空庭園（市街地における緑地の創出）

山梨県甲府市

- 甲府城周辺地域活性化基本計画・実施計画

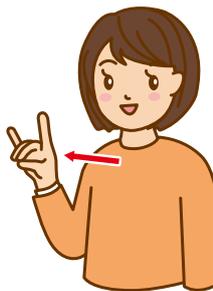
静岡県焼津市

- 環状交差点改良事業

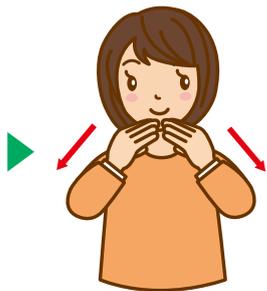
手話で話そう!

議員提案により、平成29年3月に手話言語条例が制定されました。簡単な手話を紹介します。

議 会



指文字の「き」を横へスライドさせる。「き」は影絵のきつねの形。



両手の指先を斜めにつけ合わせ、同時に斜め下へ引く。「会」の部首ひとやねを表す。

インターネットで

本会議の様子は、ライブ中継や録画配信をされています。市議会ホームページの「議会中継」からアクセスしてご覧ください。

また、スマートフォンやタブレット端末からもご利用いただけます。



さらに詳しい内容は会議録で

市議会ホームページ（会議録検索）や以下の施設で、どなたでもご覧いただくことができます。今回の本会議については11月末に公開予定です。

- ・市民情報センター（市役所1階）
- ・高崎市立図書館（本館及び地区館）
- ・倉洲公民館図書室



